

事務事業名		大東木次三刀屋調理業務等委託事業		所属部	教育委員会	所属課	教育総務課
総合計画体系	政策名	(IV)ふるさとを学び育つまち<教育・文化>		所属G	教育総務・給食グループ	課長名	古田光弘
	施策名	(27)学校教育の充実		担当者名	舟木洋介	電話番号	0854-40-1071
	目的:対象	小学校の児童・中学校の生徒	意図	基礎基本(知・徳・体)の発達を促し、生き抜く力を身につける。		(内線)	2271
	基本事業名	(084)学校の施設・設備の充実		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	学校給食管理事業	
目的:対象	児童・生徒	意図	充実した教育施設・設備で学ぶ。		項 目 中事業 中事業名	大東木次三刀屋調理業務等委託事業	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度~)
	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (23年度~ 31年度)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述)
市内3つの学校給食センター(大東、木次、三刀屋)の調理業務等について委託を行う。 【委託業務内容】	
①調理業務	
②配缶及びコンテナへの積み込み業務	
③食器、食缶、調理機器及び輸送用コンテナの洗浄消毒業務	
④残菜の処理業務	
⑤施設・設備の清掃・消毒・点検業務及び敷地周辺の清掃	
⑥使用物品管理業務	
⑦衛生管理業務	
⑧食材の検収業務	
⑨ボイラー運転業務	
⑩前述の付帯業務	

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	28年度実績(28年度に行った主な活動) 委託契約事務、委託料の支払い		29年度計画(29年度に計画する主な活動) 委託契約事務、委託料の支払い			
	② 活動指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
ア	委託料支払い件数	件	12	12	12	12	
イ	児童生徒、園児、教職員給食提供数(大東、木次、三刀屋)	食	514,819	501,045	512,131	490,000	
ウ							
エ							

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
	雲南市内(大東、木次、三刀屋)小中学校児童生徒、幼稚園児、教職員、出雲養護学校雲南分教室生徒教職員	ア	児童生徒、幼稚園児、教職員数(大東、木次、三刀屋)	名	2,871	2,863	2,832	2,730
		イ						
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)		
安全安心でおいしく魅力ある給食を提供することにより、成長期にある児童生徒、園児の心身の健全な育成と食育につながる。	ア	異物混入、苦情件数(大東、木次、三刀屋)	件	8	13	46	0	
	イ							
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)	② コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
委託料125,295千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円	124,522	124,522	125,295
	事業費計(A)	千円	124,522	124,522	125,295	125,928
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2
延べ業務時間		時間	150	150	150	
人件費計(B)		千円	583	587	595	
トータルコスト(A)+(B)	千円	125,105	125,109	125,890		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
少子化により対象者は減少傾向にある一方、平成27年度から出雲養護学校雲南分教室にも学校給食を提供することとなった。平成28年度からは大東、木次及び三刀屋学校給食センターで幼稚園型認定こども園に対しても通年で学校給食の提供を行う。	平成23年度から大東・木次・三刀屋の各学校給食センターについて調理業務等の委託(3年契約)を行い、委託調整会議で3センター間の調整をはかってきた。また、調理業務等委託評価委員会にて評価を行い、業務の質の向上に資することとしている。	委託評価委員会より、「安全・安心な学校給食の提供」を基本に、適切に管理・運営されているとの評価を受けた。また、単に委託業務にとどまらず、積極的な地域との交流活動や地元野菜使用への取り組みなどの効果も生まれている。

事務事業名	大東木次三刀屋調理業務等委託事業	所属部	教育委員会	所属課	教育総務課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	児童生徒、園児に、より安全安心でおいしく魅力ある給食を提供するために、衛生管理の徹底または、毎日の学校給食を「生きた教材」として、子どもたちの食育(食の大切さや文化、栄養のバランスなどを学ぶ)に役立てるよう更なる充実を目指す。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	調理員の確保及び管理ができず、学校給食の提供に支障がでる。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由		類似事業はなく、他に手段がない。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		安全・安心で質の高い学校給食を提供するために業者選定委員会で適正な委託料について検討を行った結果であるため。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	当事業を開始したことで、人件費の大幅な削減に繋がっている。	
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		提供される学校給食の質は保たれており、業務委託を行うことについて受益者への不利益になっていないため。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	受益者からはより一層安全・安心で質の高いサービスを求められており、それに応えていくためにも引き続き行っていくべきものと考ええる。	
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上	●																						
	維持			×																				
	低下		×	×																				
<p>平成22年度から実施した技能労務職の職種転換に伴い、平成23年度から大東・木次・三刀屋の3センターについて調理業務等を直営方式から委託方式へ変更した。今後についても調理業務等委託評価委員会を通じた評価を行い、安全・安心で質の高い学校給食を提供していく必要がある。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																							